

現代福祉国家の再構築シリーズⅢ
積極的な最低生活保障の確立
—国際比較と展望—

連合総研「最低生活保障制度の国際比較」研究委員会（*主査）

- | | |
|--|--------------------|
| * 梶本一三郎（上智大学教授） | 武川 正吾（東京大学大学院教授） |
| 布川日佐史（静岡大学教授） | 大森 正博（お茶の水女子大学助教授） |
| 宮寺 由佳（浦和大学講師） | 後藤 玲子（立命館大学大学院教授） |
| 濱口桂一郎（政策研究大学院大学教授） | |
| 柳 宏志（連合生活福祉局部員） | 滝沢 弘（連合前労働条件局部員） |
| （オブザーバー） 岩名 礼介（三菱UFJリサーチ&コンサルティング 研究員） | |

連合総研は、先進主要各国の公的最低生活保障制度およびEUにおける貧困と社会的排除に対する政策と日本の現状を比較・検証し、ナショナルミニマムとしての最低生活保障のあり方について論点整理を行い、これからの改革方向を明示することをめざして、2005年1月に本研究委員会を設置した。

委員会では、生活扶助制度に限定することなく、広く、失業・高齢・障害・母子家庭などの公的最低生活保障についてとりあげ、イギリス・ドイツ・オランダ・スウェーデン・アメリカの歴史的な経過や現状、今後の課題について検討を深めてきた。各国を比較すると、適切な最低生活保障は、生活保護受給者だけの問題ではなく、失業・最低賃金・母子家庭など、日本の社会保障制度の枠組みを超えた問題であることが見えてくる。本書は、このような議論をふまえ、各国の社会構造や経済構造、社会保障制度の中の位置付けや役割などについて明らかにすると同時に、日本のこれからの社会のあり方を世に問うものとなった。

目次

現代福祉国家の再構築シリーズⅢ

提言 積極的な最低生活保障の確立をめざして

第Ⅰ部 積極的最低生活保障システムの構築をめざして

第1章 最低生活需要と最低生活保障システム

第2章 積極的生活保障制度の構築をめざして

第3章 めざすべき最低生活保障を求めて

第Ⅱ部 先進各国における最低生活保障

第1章 イギリスの最低生活保障制度

第2章 ドイツにおける最低生活保障制度とその改革動向

第3章 オランダの最低生活保障制度

第4章 スウェーデンにおける最低生活保障制度

第5章 アメリカの最低所得保障

第Ⅲ部 EUにおける貧困と社会的排除に対する政策

補論 最低所得保障制度の給付基準に関する国際比較